

平成31年 3月20日
岡 山 大 学

2021年度岡山大学入学者選抜（2020年度実施）の基本方針について【第二報】

2021年度岡山大学入学者選抜（2020年度実施）については、平成30年（2018年）7月19日付けで、基本方針を公表しましたが、現時点で決定しているより詳細な内容について以下のとおりお知らせします。

1. 入試区分の変更

【2020年度入試（2019年度実施）】

入試区分
一般入試
推薦入試
アドミッション・オフィス入試
国際バカロレア入試
社会人入試
私費外国人留学生特別入試



【2021年度入試（2020年度実施）】

入試区分
一般選抜
学校推薦型選抜
総合型選抜
国際バカロレア選抜
社会人選抜
私費外国人留学生選抜

※ 2021年度入試から帰国子女入試を廃止します。

（理由）過去数年における帰国子女入試の実施状況は、全学部の志願者が0～3名程度という状況であり、グローバル・ディスカバリー・プログラムの設置や国際バカロレア入試の拡充により、その役割が終了したものと判断しました。

2. 大学入学共通テストの利用について

(1) 大学入学共通テストにおいて課す教科・科目

一般選抜、総合型選抜、学校推薦型選抜について、大学入学共通テストにおいて課す教科・科目は、現行の2019年度大学入学者選抜大学入試センター試験における利用教科・科目から変更はありません。

(2) 一般選抜における大学入学共通テストの外国語（英語）

一般選抜においては、大学入学共通テストの外国語（英語）による受験者につい

て、「筆記」及び「リスニング」を全員に課すとともに、英語資格・検定試験の結果を、大学入試センターを通じて提出することを求めます。ただし、やむを得ない理由により英語資格・検定試験の結果を提出できない志願者については、その理由を記した理由書の提出を求め、本学において正当な理由であると判断した場合には、本学の一般選抜への出願を認めることとします。

外国語（英語）の点数は、「筆記」（200点満点）と「リスニング」（50点満点）の得点の合計を200点に換算し、学部・学科等の配点に換算したものを大学入学共通テストの外国語（英語）の点数とします。英語資格・検定試験の結果は合否判定には利用しません。

平成30年（2018年）7月19日付けで公表した基本方針では、英語資格・検定試験の結果については、大学入学共通テストの外国語（英語）の得点と合わせて評価する方法を採用することとしていました。しかし、現時点においても、様々な課題の解決への道筋が不明確な状況です。こうしたことと、英語4技能が重要であることの両面から検討し、前述した活用方法が適切であると判断しました。様々な課題とは、英語資格・検定試験の実施体制の方針が現時点で定まっていないこと、試験実施に必要な器具の準備状況や試験方法の見直しが2020年度の実施までに整備されるのが懸念されること、高等学校側からの授業での検定対策（学習指導要領との整合性など）や試験結果の入学者選抜での活用（換算の正当性など）についての懸念や不安が払拭されていないこと、経済状況や地域的な格差に対する方策が定かでないこと等です。

なお、本学では、入学者選抜の合否判定には利用しませんが、入学後の学修にあたっては、「各資格・検定試験とCEFRとの対照表（文部科学省作成）」におけるA2レベル以上の英語能力を有していることが望ましいと考えています。

(3) 記述式問題の取り扱い

国語の記述式問題の結果については、大学入学共通テストの国語の成績を利用する本学の全ての一般選抜、総合型選抜、学校推薦型選抜において得点化して活用します。記述式問題の評価は、総合段階の評価のみを利用し、20点満点とします。各段階の得点への換算は、A 20点、B 15点、C 10点、D 5点、E 0点とし、マークシート方式の得点（200点満点×0.9）に加えた結果（200点満点）を学部・学科等ごとの配点に換算し、大学入学共通テストの国語の点数とします。

また、数学の記述式問題については、大学入学共通テストの数学の成績を利用する本学の全ての一般選抜、総合型選抜、学校推薦型選抜において、従来のマークシート式問題のみの場合と同様の扱いとします。

3. 個別学力検査等について

(1) 個別学力検査等における記述式問題（高度な記述式試験）

平成 30 年（2018 年）7 月 19 日付けで公表した基本方針のとおり、論理的思考力・判断力・表現力をより適切に評価するため、入学試験問題の改善に取り組みます。

(2) 「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」の評価

一般選抜においては、調査書によって学修状況の極めて優れたところを評価することとし、最終的な合格者決定の際の資料とします。

また、面接を課す学部・学科等の選抜においては、当該面接において評価を行う場合もあります。

総合型選抜、学校推薦型選抜においては、調査書の他、志望理由書や推薦書も含めた書類審査や面接によって評価を行います。

(3) 課す教科・科目等

個別学力検査等において課す教科・科目等について変更がある場合には 6 月を目途に公表します。

4. 総合型選抜、学校推薦型選抜における英語資格・検定試験について

志願者全員に大学入試センターを通じて英語資格・検定試験の結果の提出することを求めます。ただし、やむを得ない理由により英語資格・検定試験の結果を提出できない志願者については、その理由を記した理由書の提出を求め、本学において正当な理由であると判断した場合には、本学の総合型選抜、学校推薦型選抜への出願を認めることとします。

また、有効となる資格・検定試験の対象範囲は、受験する年度の 4 月以降に受検したもので、出願時に大学入試センターから本学に結果が提供されるものとなりますので注意してください。

(注) グローバル・ディスカバリー・プログラムについてはこの限りではありません（別に定めます）。

(注) 2020年度入試(2019年度実施)AO入試・推薦入試については、2018年6月に発表しましたが、以下のア～オについて補足します。

ア 医学部医学科の推薦入試Ⅱ

「CEFRのB1レベル以上の成績を収めていることを出願資格」としていましたが、「地域枠コース」が継続される可能性があることから、推薦入試Ⅱを「地域枠コース」として実施する場合には、英語資格・検定試験の成績の提出を不要とし、この出願資格を課さないこととします。

なお、2019年3月現在、「地域枠コース」の継続は確定していません。「地域枠コース」の継続や、募集定員、出願資格等の詳細については、確定次第、速やかに本学ホームページにおいて公表します。

イ GTECの扱い

2018年度に受検した結果については「4技能オフィシャルスコア」と「4技能通常スコア」のいずれも有効とします。

2019年度に受検した結果については「4技能オフィシャルスコア」のみを有効とします。

ウ 実用英語技能検定(英検)の扱い

従来から実施されている、一次試験の合格者のみが二次試験を受験する方式の英検の結果を有効とします。

オ 配慮事項

提出を必須(出願要件)とする場合、特別な事情で英語資格・検定試験が受検できない志願者については、別途対応します。

5. その他

この「2021年度岡山大学入学者選抜(2020年度実施)の基本方針について【第二報】」は、現時点における文部科学省をはじめ英語資格・検定試験実施団体等における検討状況を踏まえたものであり、今後の検討・改善状況によっては、変更となる場合があります。